



九曜クラブ会報 Vol.15

OPEN MIND

OPEN MIND (NPO法人九曜クラブ会報)/発行者:NPO法人九曜クラブ/発行責任者:松田 博康/編集者:広瀬 哲朗
所在地:〒104-0045 東京都中央区築地3-7-11 ラフロビル4F / TEL:03-3541-4210 / FAX:03-3541-4210

E-mail:info@kuyoh.luflos.co.jp http://www.kuyoh.luflos.co.jp/



九曜フットボールクラブ



結束力!

監督:草木 友則

九曜クラブトップチームは、昨年度、東京都社会人2部リーグ3ブロックにおいて、3勝6敗3分12チーム中8位の結果に終わりました。週1回行っていた平日の練習は、グラウンドの関係等で出来なくなってしまいました。毎週日曜日に公式戦もしくは練習試合を中心に活動いたしました。ここ数年の課題ですが、社会人チームであるが故に、毎週参加人数がギリギリで、なかなか思うような結果が出せなかった一年でした。

今年度は、経験豊富な選手が数名加わり、また昨年度から加入した若手も一年を通して試合に出場することによって、レベルアップいたしました。昨年同様、練習が出来ず試合中心の活動になりますが、コミュニケーションをしっかりとり、メンバーそれぞれがお互いのプレーを理解し、助け合いながら戦えるようなチームを目指します。

Jr,Jrユースの選手たちが活躍されていますが、我々トップチームも負けられないよう頑張り、そして皆さんと一緒に九曜クラブを盛り上げていきたいと思っております。

今年度もどうぞ宜しくお願い致します。



2010年度 九曜FC選手紹介

背番号	ポジション	選手氏名	年齢
1	GK	関 谷 竜 司	32
22	GK	武 藤 謙 史	36
31	GK	林 田 秀 人	29
3	DF	阿 部 宗 史	19
4	DF	高 田 啓 太	19
16	DF	岡 田 憲 和	30
17	DF	中 原 正 成	36
2	MF	古 林 直 樹	32
5	MF	安 岡 聖	34
6	MF	草 木 友 則	33
7	MF	小 関 一 平	29
8	MF	徳 田 力 也	20
11	MF	松 原 慶	29
15	MF	加 藤 雄 太	31
18	MF	橋 本 一 樹	30
9	FW	松 浦 淳	28
10	FW	今 野 哲 郎	36
12	FW	長谷川 剛	34
13	FW	笠 井 宗 幸	31
14	FW	沼 崎 俊 哉	19

九曜FC 2009年度 全成績

●第43回東京都社会人サッカーリーグ

1.	4/ 5	0 Δ 0	VS 府中アスレティックFC
2.	4/26	0 ● 3	VS 博報堂サッカー部
3.	5/ 3	0 Δ 0	VS 芝浦中央クラブ
4.	5/24	3 ○ 0	VS 府中水元クラブ
5.	6/ 7	2 ● 3	VS C.A.REAL TOKYO
6.	6/14	4 ○ 1	VS 都立大学OB蹴球会
7.	7/ 5	1 Δ 1	VS FC アウルズ
8.	7/20	0 ● 1	VS 三菱養和SC
9.	9/ 6	1 ○ 0	VS F.C. MALTS墨田
10.	9/13	1 ● 3	VS 住友商事サッカー部
11.	9/27	0 ● 6	VS FC. OSSA
12.	10/18	1 ● 3	VS 鶴牧SC

※2部リーグ 3ブロック 8位(3勝6敗3分)

●東京都社会人カップ戦

1.	8/23	1 ○ 0	VS 早稲田ユナイテッド
2.	11/ 1	3 ○ 2	VS Jam. FC
3.	11/23	0 ● 2	VS FC駒沢Griffin

※2部カップ戦 ベスト4

 **Junior
KUYOH CLUB**

九曜FCジュニア



九曜FCジュニア・ジュニアユース

代表：大多和 正直

●昨年度の総括

各種大会において、そこそこの成績を、随時おさめられるようになってきました。昨年度でいえば、板橋区選手権大会（夏の大会）高学年A、3位。区民大会（冬の大会）低学年A、3位。高学年A、3位。区U12Aリーグ、3位と勝ち点1差の5位。ジュニアカップ、2年生3位、4年生4位など。この年代の大会形式は、「トーナメント」が多く、くじ運も関係し、上記以外にも上位に食い込めるチャンスは多々ありましたが、接戦を競り負けたり、内容では勝っているのに負けたり、展開もありました。そんな試合に関し、技術や戦術といった事もまだまだ必要なのですが、それと同時に「パーソナリティーの向上」も必要だと痛感いたしました。

試合などに出場するようになり約10年がたち、昔に比べ選手・保護者からは「サッカーへの意欲」を強く感じます。サッカーをやりたくて、九曜に通ってくる選手が、とても多くなりました。昔ならば「サッカーをやること・サッカーに向かい合わせる事」が必要でしたが、今では、それらを兼ね備え入会してくれたり、周囲のそんな雰囲気自然と覚えていってくれています。ただ、サッカーをもっとやらせてあげたい気持ちから、準備をしてあげたり、荷物を持ってあげたりと、『子供はグラウンドに来てサッカーをするだけ』に近い状況にもなってきたと反省しています。



●今年度に向けて

『サッカーを頑張れるからこそ、他の事も頑張る』事を、今年度からはより求めていこうと思います。移動や挨拶、遅刻や荷物の管理から、食事、睡眠のことなど。選手だけではなく、4月に3年生以上で親子ミーティングを行い、保護者への協力も求めました。逆境にも負けない、自分（仲間）達で解決出来る、強い選手・チームになるよう、指導してまいりたいと思いますので、今年度も引き続き、応援、ご理解、ご協力の程よろしくお願い致します。




**Junior youth
KUYOH CLUB**
九曜FCジュニアユース

九曜FCジュニアユース

監督：横山 直幸

●昨年度の総括

昨年の4月から、トレーナーの方に週2回来てもらっています。各学年の筋力やアジリティ、心肺機能を高めるトレーニングを行ってもらっています。一つの成果として、3年生が高円宮杯都大会に初進出できました。選手たちの頑張りや保護者のサポートに、トレーナーの方の力が加わり、進出できたと思っています。今年度は、昨年の経験を生かし、さらに効果的で効率の良いトレーニングを行っていきたいと思います。

●新年度に向けて

3年生：クラブユース連盟の大会で、ベスト24以上の成績。

後期Tリーグを都リーグで戦い、都リーグに残留。

2年生：9月から始まる新人戦3次リーグ突破。
板橋区民大会3連覇。

1年生：9月から始まる1年生大会2次リーグ突破。
板橋研修大会優勝。

2010 ジュニアユース春合宿

in 茨城県神栖市

■場 所：茨城県神栖市

■日 時：平成22年3月28日～31日（3泊4日）

 ■参加者：ジュニアユース2・3年生、新1年生希望者
選手57名・スタッフ4名 計61名

3月28日～31日にかけて、ジュニアユース全学年合同で合宿（ヴェルディレスチ主催フレンドリー大会）に参加しました。この合宿は千葉県の強豪チームであるヴェルディレスチが主催し、遠く北海道からの参加チームがあるなど、普段はなかなか戦う事の出来ない都外のチームと対戦ができるということで参加してきました。また、3年生にとっては、4月から始まるクラブユース選手権前の準備としても大事な合宿になりました。選手達にとっては、色々なチームと試合をすることで、多くの刺激を受ける事が出来たと思います。また、違う学年の選手との関わりを持てた事もとても良かったと思います。

3年生にとっては、クラブユース選手権2次リーグ・3次リーグ突破に向けて、2年生にとってはさらなる飛躍の為の第一歩として、とても有意義な合宿となりました。



“ 九曜応援キャンペーン 特別価格でご提供 ”



横380mm×幅200mm×高さ320mm

● バッグ(エナメル製) ¥6,000 → **¥4,400**



S・M・L

● Tシャツ(木綿製) ¥1,500 → **¥900**

是非この機会にご購入いただき、みんなで九曜を応援しましょう!

お申し込み

直接お受取になる場合は送料はかかりません。お近くのコーチ・スタッフにお申しつけ下さい。

メールにてお申込の場合は下記をご記入の上、事務局へお送り下さい。ご入金を確認され次第発送いたします。

※メールにてお申込の場合は別途送料がかかります。(バッグ送料 ¥850別途)(Tシャツ送料 ¥680別途)

①お名前 ②お届け先住所 ③電話番号 ④品名(Tシャツはサイズを記入) ⑤数量 ⑥金額 ⑦合計金額

■お振込先:みずほ銀行 築地支店 普通 2352638 (特非)九曜クラブ



● NPO九曜クラブ 第8期定時会員総会

例年通りNPO九曜クラブの会員総会が開催されます。

平成22年5月29日(土)に事務局であるラフロスビルにて開催されます。

平成21年度事業報告・決算報告、平成22年度事業計画・予算(案)、その他の審議が行われます。

身

南アフリカW杯代表メンバーに川口能活選手が選ばれた。岡田監督が直接電話をして、チームのまとめ役を依頼したという。94年にマリノス時代の川口選手と会談したことがある。まだ高校を卒業したばかりではきはきした好青年で眼が印象的だった。スーツ姿からは後の「炎のGK」といわれる闘志は感じられなかった。翻って68年メキシコオリンピックで銅メダル時のキャプテンは八重樫茂生選手だった。八重樫選手はケガで出られなかった3位決定戦の前、ロッカーで他の選手のスパイクを磨いていたという(長沼監督から直接聞いた話)。強烈な闘志で鼓舞するリーダーと、地道に支えとなり頼られるリーダー、苦しい最後の15分間を耐えるパワーとなりうるのはどちらであろうか? 両具された川口選手を期待する(T.H)

辺

雑

記